



令和元年12月19日
海上保安庁

海賊対策等のため巡視船及び航空機を派遣します！

～法の支配に基づく自由で開かれたインド太平洋海域の維持・強化
を目指して～

海上保安庁は、東南アジア周辺海域等における海賊対策の一環として、今月26日から約1箇月間、巡視船をインド及びマレーシアに、来年1月21日から4日間、航空機をマレーシアに派遣します。派遣中は、公海上でのしゅう戒を実施するほか、寄港地での関係機関との連携訓練やワークショップ等を通じて、海上法執行能力の向上及び各国との連携・協力関係の強化を図ることとしています。

法の支配に基づく自由で開かれたインド・太平洋を実現することは、海賊をはじめとする海上における脅威から地域の平和、安定及び繁栄を護る上で不可欠なものです。海上保安庁では、東南アジア諸国等の海上法執行機関における能力向上支援の観点から、海賊対策として、東南アジア周辺海域に平成12年から巡視船を、平成13年から航空機を派遣しています。

今回の派遣の概要等は次のとおりです。

1 派遣巡視船及び航空機

(1) 巡視船

第九管区海上保安本部 新潟海上保安部所属
巡視船えちご(ヘリコプター1機搭載)

総トン数 3,100トン

全長 105メートル



(2) 航空機

第十一管区海上保安本部 那覇航空基地所属
ファルコン2000「ちゅらたか」

全長 20.23メートル

全高 7.18メートル

全巾 21.38メートル



2 派遣国及び連携訓練等概要

(1) インド

- ・ 同時期に今回で第19回目となる日印海上保安機関長官級会合をデリーで開催。これに併せて巡視船えちごをチェンナイへ派遣し、海上保安庁及びインド沿岸警備隊による第18回目となる連携訓練を実施する予定。(両長官が視察予定)

(2) マレーシア

- ・ 同時期に鈴木 史朗(すずき しろ)海上保安庁総務部参事官を団長とする派遣団が航空機に同乗して、マレーシア海上法令執行庁等への表敬訪問及び訓練視察等を実施する予定。これに併せて巡視船えちごを派遣し、海上保安庁及びマレーシア海上法令執行庁による第4回目となる連携訓練を実施する予定。
- ・ 油防除分野での連携強化を図ることを目的に、海上保安庁、マレーシア海上法令執行庁共催で、マレーシア海上保安関係機関等に対する油防除ワークショップを実施し、講師として海上保安庁モバイルコーポレーションチーム^{※1}及び機動防除隊^{※2}等を派遣する予定。

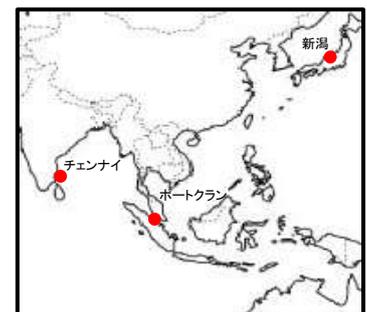
※1 海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)とは、平成29年10月に発足した能力向上支援の専従部門。現在10名体制。支援対象機関の職員と共に、必要な支援内容を協議する等、信頼関係を構築しながら支援対象機関の要望にきめ細かく対応し、より一貫性・継続性のある能力向上支援を実施することで、相互の能力向上を図っている。

※2 機動防除隊とは、全国各地で発生する海難、地震等の自然災害により海上に流出した油、有害液体物質、危険物等に対応するため、現場に派遣され、指導・助言等を行う専門部隊。

3 派遣日程

(1) 巡視船

令和元年12月26日(木) 新潟港出港/出港式
令和2年 1月13日(月) チェンナイ入港(インド)
1月16日(木) インド沿岸警備隊との連携訓練
1月17日(金) チェンナイ出港
1月22日(水) ポート克蘭入港(マレーシア)
1月23日(木) 油防除ワークショップ
1月24日(金) マレーシア海上法令執行庁との
連携訓練
1月25日(土) ポート克蘭出港
2月 8日(土) 新潟港入港/入港式



(2) 航空機

令和2年 1月21日(火) 那覇発、スバン着(マレーシア)
1月24日(金) スバン発、那覇着

(参考)前回の巡視船派遣の状況



ブルネイ王立警察長官表敬訪問
(ブルネイ)



巡視船つがるでのワークショップ
(ブルネイ)



フィリピン沿岸警備隊との連携訓練
(フィリピン)



フィリピン・インドネシア
との合同油防除訓練
(フィリピン)